

福集協発第 96 号

平成16年10月29日



各 医 師 会 長 殿

福岡県集団検診協議会

会 長 竹 嶋 康 弘



平成16年度第1回肺がん検診講習会について（ご案内）

標記講習会を別紙日程により催しますので、肺がん検診精密検査実施登録医療機関並びに再精密検査実施登録医療機関をはじめ会員各位にご案内下さいますようお願い申し上げます。

なお、

- 1) 肺がん検診精密検査実施登録医療機関並びに再精密検査実施登録医療機関には本会より直接ご案内申し上げます。
- 2) 肺がん検診精密検査実施登録医療機関並びに再精密検査実施登録医療機関は講習会の出席が義務づけられており、各年度1回以上の出席がない場合は、次回の登録が保留されますので、貴職よりもご高配いただきますようお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 蒲池 壽



平成16年度第1回肺がん検診講習会日程

△と き 平成16年12月9日(木) 19:00~20:00

△と ころ 北九州市立商工貿易会館 2階多目的ホール
北九州市小倉北区古船場町1-35
TEL 093-541-2184

1. 開 会

2. 挨拶

3. 特別講演

「肺癌を切らずに治す 一重粒子(炭素イオン)線治療一」

座 長: 産業医科大学第二外科教授

安 元 公 正

講 師: 独立行政法人放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター病院

治療課 第二治療室長 馬 場 雅 行

4. 閉 会

一講演要旨一

わが国の悪性腫瘍のうちの死亡原因の第一位が肺癌となつてから久しいが、さらに患者数は増加する傾向にある。このように増加の一途を辿っている肺癌の治療法としてもっとも確実なものは外科療法であるが、局所的には根治が期待できるI期肺癌であっても、低肺機能やその他の理由により外科療法が適用できない場合も多々ある。実際に、わが国の国立療養所肺癌研究会のデータによると肺癌全体の3.21%は何らかの理由で外科療法を受けていない症例であったとされている。現在の肺癌の罹患数は1年間に約6万人といわれているがこの比率を適応すると、I期の非小細胞肺癌であっても手術を受けていない患者数が毎年1,900人以上あるものと推定される。このようなI期の非小細胞肺癌であつて手術を受けられない、あるいは受けたくない症例に対する(手術に代わる)根治療法として、新しい放射線療法が注目されるようになってきている。X線による従来の放射線療法は周囲組織に対する障害も少なからずあることから、十分な局所制御効果が得られる高線量の照射は困難な場合も多い。この点を克服するためにX線の照射方法の工夫がなされ、比較的小型の病巣に対して原体照射法や定位的3D照射法など高度な技術を用いた治療法が普及し、治療成績の向上がみられている。さらに近年、新しい放射線として荷電粒子線を用いた肺癌に対する放射線療法が行われるようになり良好な成績が得られているが、今回、荷電粒子線の中でもとくに放射線医学総合研究所・重粒子医科学センター病院で行っているI期非小細胞肺癌に対する炭素イオン線(いわゆる重粒子線)治療について述べる。